



えんだよい

令和4年8月 古川保育園

新型コロナウイルス感染症に関する件ではご心配をおかけしていますが、子どもたちは水遊びやプールを楽しんだり、栽培物やカブトムシなどの世話や観察をしたりと、楽しく過ごしています。

これから暑さも本番！水分補給や休息を心掛け、体調に気を付けながら、この時期ならではの体験を保育に取り入れていきたいと思えます。



体操教室

2（火）0,2,5歳

4（木）1,3,4歳

10（水）園医健診（0,1歳児）

26（金）プールじまい

夏のお楽しみ会（幼児）

※感染症等の状況により、予定は変更の場合もあります。その際はお知らせします。

おねがい

*夏の感染症が出る時期なので、気になる症状がある方はお知らせください。又ご家庭でもご家族に感染症が出た場合も同様にお知らせ下さい。登園の際、許可証の必要な物もあります。

*SDGSの取り組みから、食品ロスを減らすため、お休みのご予定がある方は、事前に職員にお知らせ下さい。（コドモンや、プールチェック表への記入でもOKです）

*夏の間は、衣服の脱ぎ着が増えたり、持ち物の迷子が増えることが予想されます。持ち物には必ず名前を記入していただくようお願いいたします。

「せんせい いないもんね」

7月のある日。昼食を食べ終えた3歳児さんとおしゃべりをしていたときのこと。

子「ごはんたべるときはおはなししちやいけないんだよね」 保「そうだねえ」

子「でもおうちではいいんだよね。だって、せんせい いないもんね。」

コロナ禍と呼ばれる状況になって2年余り、大人にとっての新しい生活様式は子どもにとったら普通の生活様式になっているのでしょうか。3歳児さんなりに保育園とお家とのルールの違いを考えたんですね。

感染の急拡大の中、保護者の皆様には保育園における感染拡大予防策に日々ご理解とご協力をいただきありがとうございます。刻々と変化する状況に注視し、正しい知識と情報を持って、子どもたちの思う「どうして？」に向き合い一緒に考えながら楽しく保育を進めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

（園長：大多和）

栽培物・飼育物の取り組み

今年の夏も各学年で夏野菜を育てたり、カブトムシやアオムシなどを飼育して成長を喜んでいます。その中でのエピソードを紹介したいと思います！！



しろうさぎ・ももうさぎぐみ（2歳児クラス）

4月からカブトムシの幼虫、ザリガニ、アゲハの幼虫と色々な飼育物を観察してきたうさぎ組さん。小さな黒い幼虫から緑色の青虫になり、葉っぱをムシャムシャ食べる姿は本当に「はらぺこあおむし」の絵本と同じ？きれいなちょうちょになって、テラスでみんなでバイバイしました。7月にはカブトムシも成虫になり、ゼリーを食べる様子をよく見えています。（ちょっと怖い子もいますが）あおむしやカブトムシの製作も楽しく取り組みました。最近仲間入りしたニジイロクワガタも「どうしてピカピカがついているの？」と興味津々です。

ぱんだ・こあらぐみ（3歳児クラス）

「オクラ」と「ピーマン」を育てています。収穫したものを順番に持ち帰っています。普段野菜が苦手な子が「大きいピーマン持って帰る！」と張り切っている姿もかわいらしいです。お家で食べることができたでしょうか？また大きく育ったオクラは野菜スタンプにして楽しんでいます。クラスで飼育しているカブトムシが成虫となりました。毎日観察しているうちにカブトムシに触れられるようになるなど興味が広がっています。オス同士のけんかが始まると「またケンカしてる～」とすぐに報告してくれる子ども達です。



きりん・ひつじぐみ（4歳児クラス）

お部屋で青虫、カブトムシ、カタツムリを飼育しています。青虫が蝶々になると「頑張れ～」と応援しながら飛び立つのを見守りました。カブトムシは幼虫から飼育していたのでカブトムシになるのをまだかな？と楽しみにしていました。そしてカブトムシになると「逃がしてあげたほうがいいんじゃない？」という意見が出ていました。カタツムリは水をあげると殻から出てくるのが面白いようです。栽培物では、インゲン、ナス、オクラを育てています。実ると持ち帰ってお家で食べて貰っています。「美味しい！」との感想が多く聞かれました！

らいおんぐみ（5歳児クラス）

お当番（日直）の大きな仕事の一つに飼育物のえさやりがあります。今はザリガニとカブトムシにえさをやったり、カブトムシの土に霧吹きをしたり、お当番さんは責任を持って頑張ってくれています。毎朝、子ども達は登園すると、自主的にカブトムシの様子をチェックし、「エサ食べてる！」「土にもぐってる！」等保育士に詳しく報告してくれています。「先生、私、カブトムシ触るのちょっと怖いけどがんばって触ってみる！」と言って勇気を出して触っている子もいます。触ることができると勝ち誇ったような表情をしていて、それを見るとクスッと笑ってしまいます。

